

會報

春鳥會入會者の確定せし分左の如し

兵庫縣武庫郡都賀濱村大石

正 中臺 枯 星

新潟縣南魚沼郡五十澤村大字宮

贊 牛 木 勇

東京市麴町區隼町十八番地金子氏方

贊 齋 藤 八十八

長崎市勝山町二十七番地

正 森 寅 太郎

岐阜縣稻葉縣加納町一丁目文明堂方

正 森 貫 一郎

山口縣熊毛郡佐賀村

贊 久 保 周一

大坂市東區清堀町十八番地

贊 鈴木 建二良

東京市麻布區筭町二番地

正 赤 壁 德 彦

東京市淺草區馬道町六ノ十五

贊 森 榮 一郎

茨城縣眞壁郡下妻町四二四

正 外 山 孝 四 郎

東京府北多摩郡砂川村四〇二

贊 島 田 武 之 助

德島縣海部郡牟岐村六番屋敷

贊 飯 田 宗 吉

福岡縣豐前國行橋町

贊 福 島 八 三 郎

埼玉縣入間郡豐岡町大字扇町屋

正 横 田 順 三

滋賀縣大津市物産陳列場

吉 田 喜 藏

下野國足尾銅山通洞

贊 田 島 猶 吉

福井市寶永中町十五番地

正 小 林 重 三

山形縣飽海郡南平田村大字砂越楯之内

贊 後 藤 仲 治

越中國婦負郡寶枝村下名鑛泉場

桐 野 鶯 枝

(正贊未定の分は次號に)

次號の本誌には丸山氏の飛驒紀行續篇掲載可被致候

三宅氏の關宿スケッチは第十七に出すべく候。

在營口軍政署、石川欽一郎氏は不日更に面白き記事御寄稿相成筈に候。

夏期講習會は中途から入會も差支無之候。

編者より

◎海老名氏へ 湖岸は面白き出來、船の遠近法に間違なきや◎鈴木氏へ 競技會出品の分は紙上に批評致兼ます別に御提出になつては如何◎長野也水氏へ 大膽に戸外で寫生を爲給へ、壁の色が蔭になつてゐない空と比べてどれ程暗いか研究して御覽なさい

い◎ハガキ文學附ろく三宅氏の繪葉書でみづる十四未着といふて來た人は宿所も名もない消印も不明◎長野れづみ君へ 馬が御名前のやうですれ、家も田も研究が足りません田の畔など遠近の色の區別が見えない◎辻本君 みづゑは届きませんがいよく不明なら御一報を◎武末君 入會書は適宜の文面でよろしい◎郵便切手で送金の方は必ず間に紙を挿んで下さい

寫生會

●端午會 所在名古屋市南鍛冶屋町五丁目會員加藤和夫、犬飼京奴、齋藤厘無、井上明童、犬飼莊水○毎月一回寫生會を開き作品は等級を附して交換す(以上犬飼莊水氏報)
●双葉會 創立明治三十八年五月○所在東京麻布筭町赤壁宅○會員森榮一、金江龜、石田幹之助、土橋光之助、福島重義、赤壁德彦○每週一回寫生會 毎年四回展覽會を開く○毎月會誌「ふたば」を發行す(以上赤壁氏所報)
●五江會 明治三十八年八月創立○所在日向國延岡本小路○會員佐野五彩、宿屋翠山、兒玉水際、原田白露、佐野三山○毎月第二日曜日寫生會○毎月末日迄に會員の作品を集め綴りて廻覽す(以上佐野三山氏報)